

広報がもう

「このまちで、心豊かに住み続けたい」と

思えるまちづくり



がまチヨコ

NEWS

11月号

2022年11月20日発行
No.188

蒲生地区まちづくり協議会 チョコットニュース <https://www.gamoyume.org>

発行者：東近江市 蒲生地区まちづくり協議会・広報企画委員会 住所：東近江市市子川原町461-1・蒲生コミュニティセンター内 TEL / FAX：0748-55-3030

霜月の色を
見つけました!!



蒲生地区文化祭より

蒲生地区まちづくり懇談会

蒲生地区まちづくり懇談会が2年ぶりに開催されました。この懇談会は、まち協が抱える課題を共有し、地域の課題解決、発展につなげていこうとするものです。市から小椋市長はじめ幹部19名が、まち協からは西村会長はじめ各部長・委員長が、自治会連合会からは森山会長が出席され1時間半以上にわたっての懇談となりました。

最初に、西村会長より、蒲生が誇る「野口謙蔵記念館」「ガリ版伝承館」を残していただいたこと、また、堀井家の蔵に残る資料調査にも取り組み、結果として「エジソンの手紙の発見」につながったことなどに対して、お礼を申し上げました。

ガリ版（正確には謄写版）は、市が誇る三大発祥の一つとされ、蒲生地区ではガリ版を核としたまちづくりに取り組んでいくこと、その為には今までの活動を継承しながらまち協が主体となって推し進めることを市に説明し、今後の協力を求めました。

私たちが日々の生活の中でお世話になっているゴミ焼却施設の建設が新たに予定されています。このような施設はどこかが引き受けなければならないものです。迷惑施設というより、皆が集い、憩え



るような場所となるよう要望しました。市の担当からは中部清掃組合の事業なので即答は出来ないが、要望していくと回答がありました。

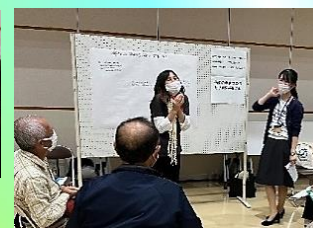
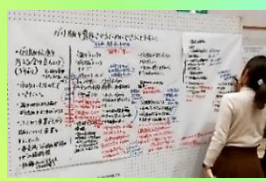
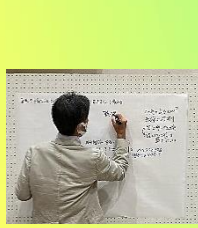
蒲生スマートインターチェンジ周辺の構想については、市街化調整区域で優良な農地であるため、すぐに開発につながるものではないと認識しています。しかし、蒲生地区としてはこの問題は何年経とうが根気よく市に働きかけていくことを申し述べました。市長からは、当市にとって蒲生の地は南の玄関口として大変重要な地域であることは十分認識している。リゲインハウス用地の問題も含めて大きな視点に立って考えていきたいとの話がありました。まち協として、行政とは車の両輪のごとく協働して今後の発展のために尽力していきます。

【蒲生地区まちづくり協議会】

まちのわ会議 がもうを若い人で、いっぱいになりたい!

～アイデアから見つける実現への第一歩～

in
がもう



近年、蒲生から、特に農村地域から人口減少が進んでいます。子どもから壮年層の人が居なくなると、地域に活力が無くなる等々課題山積。

そこで、まずは話し合いの場と、地域で実現したい夢や、解決したいことをいろんな世代の方々と共に考え、一歩を踏み出すための対話の場『まちのわ会議』を開催しておられる、東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会（事務局：NPO法人まちづくりネット東近江）にお願いして、まちのわ会議「がもうを若い人で、いっぱいになりたい!」～アイデアから見つける実現への第一歩inがもう～を東近江市地域担当職員と連携して開催いただきました。

当日は高校生から高齢者まで約50名の方に参加いただき、6つのテーマについて、地域担当職員が進行、ラウンドテーブル運営委員会が板書・発表を担当していただきました。事前に検討・打ち合わせを重ね丁寧に準備を進めて下さったお陰で、活発な意見交換の場となりました。

このような取組みは、緒に就いたばかり、継続して話し合いを重ね行動に移していけるよう、皆様のご理解ご協力よろしくお願いたします。

蒲生地区まちづくり協議会（あかね部会）

蒲生地区減災研修会

10月8日（土）蒲生地区自治会連合会と蒲生地区まちづくり協議会（ひだまり部会）共催で各自治会より、自治会長、自主防災担当の方々50名の出席をいただき「減災研修会」を開催しました。

前年度、各世帯に配布された「ハザードマップ」より「最新の地震・洪水ハザードマップから見えてくる蒲生の危険予知と対策」と題して、市防災危機管理課からお話をいただきました。想定される災害には、「水害・土砂」と「地震」が挙げられます。蒲生地区内でも地域差があり、地域や家ごとに浸水リスクを把握し、リスクに併せた避難行動が必要となります。また、蒲生地区では、最大震度6強が想定されており、「予防」が重要になって来ます。私たちに出来る事とは、家の耐震化・家具などの転倒防止策・いざという時、生活を続けるための備蓄が大切になります。また、大地震の後には、自助・共助が大切となり「地域の防災力」そのものが重要となります。

続いて、ひだまり部会から「2022がもう シェイクアウト」について、「自分の身を守る習慣」を身につける行動訓練の紹介と、「被災時のための備蓄大丈夫？」をテーマに取り上げ、各家庭での非常持ち出し品・備蓄品を備える習慣を身につける事が大切であると報告しました。

今回の研修会では災害時に備え、まず家庭で共通認識を持つため、しっかりと話し合う事が重要ではないかと考えさせられました。考えを行動に移すことは大変かと思いますが、生活を続けるには、対策が不可欠だと思います。これからも「安全・安心のまちづくり」を目指し活動を進めていきます。



蒲生地区まちづくり協議会（ひだまり部会）

ぶらい 近江 鉄道 シリーズ ガチャコンに乗って

（尼子駅編）

思い切って尼子駅で降りてみた。駅舎で見つけた広報誌で「桂城の滝」へ向かう。20分ほど歩いて到着。巨石を積み重ねた山から大量の水が湧き出ている。池には錦鯉が悠々と泳いでいる。大きな水車も動いているが、この水は自噴？さて、また少し歩いて中山道に。往時を偲ばせる大木が立ち並び。あとで知った、甲良町は戦国武将「藤堂高虎」生誕の地と。



桂城の滝



中山道の大木

蒲生地区まちづくり協議会（広報企画委員会）

「蒲生野夢あかり 2022」 3年振りに開催

(一社)がもう夢工房は、10月15、16日に3年振りとなる「蒲生野夢あかり 2022」を開催しました。

開催日の一週間前には、目玉となる巨大スタードームの骨組み(竹)が、がもう夢工房の会員に参加してもらい、3時間程かけて出来上がりました。その後、不織布の貼り付けに1日を要し、当日を迎えました。

今回もキャンドルカップには協力いただいた地区内3小学校の児童の作品(絵画、願い事など)を貼り付け、内側からゆらめくろうそくの光で照らし出しました。その数約350個。大小16個のスタードーム、約100台の行灯も加わり、さらに、久保田山、天乞山両古墳の



ライトアップで、会場は幻想的な雰囲気醸し出しました。「竹工房川部の郷」の皆さんの竹灯籠の展示も花を添えてくれました。

また、東近江市商工会青年部蒲生支部の皆さんにはバザーで協力していただきました。期間中の晴天が味方し、二日間で約850人の来場者を数えることが出来ました。

ご協力の皆さんに改めてお礼申し上げます。



【(一社)がもう夢工房】

親子の栄養講座開催 ～元気は食事から～

10月28日(金)“せせらぎ”にて、幼児期の保護者を対象に栄養講座を開催しました。市保健師による骨密度測定や河本栄養士から、「幼児期のおやつ(間食)について学ぼう」と題してお話いただきました。間食は、食事のひとつであり3回の食事を定期的に、間食を与える時間と量を決める事。離乳期の子どもの食事の楽しさは、新しい食材や家族と一緒に食事が大切。

お母さん達は、子ども達をおもちゃで遊ばせ、熱心にお話を聞かれています。

また、防災時にも役立つ「パッキング」でおやつ作りをしました。スタッフが準備した食材に調味料を入れ、ポリ袋を揉んで混ぜ合わせる作業に子どもたちも参加し、和やかなひと時でした。

健康推進員からは、減塩についてお話があり、野菜を食べる工夫や野菜を一日350g以上食べましょう!!と野菜たっぷりレシピ集の啓発がありました。



蒲生地区まちづくり協議会(ふれあい交流部会)

再発見

連載

がもうの話

蒲生地区まちづくり協議会
(万葉ロマンの里づくり部会)

113

石塔寺(その9) 司馬江漢の石塔寺来訪

江戸時代の絵師・蘭学者として知られ、日本で初めて銅版画を制作したと言われる司馬江漢(1747～1818)は、天明8年(1788)に江戸から長崎に向かう途中に日野の中井源左衛門邸に立ち寄り、石塔寺を訪れた。

その時の紀行文『西遊旅譚』を2年後の寛政元年(1790)に書き上げた。そこに石塔寺についての文と図が載っている。1枚は大塔の図で、3段の基壇と3層の石塔が描かれ、阿育王八万四千の宝塔の一塔だと記す。もう1枚は石塔寺の図で、本堂、石階、大塔などの全域が描かれる。

230年前の石塔寺の景観を伝えるとともに、石塔寺を描く最古の図であることから史料的な価値も極めて高い。大塔の図からは、3段の基壇に登って

石塔の傍に近づくことのできたことがわかる。石塔寺の図からは江戸時代の本堂の形も明らかになる。



『西遊旅譚』より



蒲生コミュニティセンター

LINE 公式アカウント

529-1531 滋賀県東近江市市子川原町 461-1



友達募集中

ID@508qfqtn

教室・講座あんない



参加者募集中



ガリ版年賀状づくり教室

12月3日(土) 9時30分~12時

【会場】蒲生コミュニティセンター 学習室5・工芸室

【材料代】300円 【定員】15名

申込受付: 11月28日(月)まで



寄せ植え教室

12月10日(土) 10時~12時

【会場】蒲生コミュニティセンター玄関前

【材料代】3,000円 【定員】15名

持ち物: 直径25~30cm程度の鉢、軍手



蒲生わいわいサロン

12月14日(水) 10時~11時30分

「みらいノート」で充実した人生を!

(東近江市長寿福祉課: 地域包括支援センター)

【会場】蒲生コミュニティセンター 小ホール

【定員】30名 持ち物: 筆記用具



そば打ち体験教室

12月15日(木) 10時~13時

12月18日(日) 10時~13時

【会場】蒲生コミュニティセンター 調理実習室

【材料代】700円

【定員】それぞれ8名(小学生以上)



しめ縄づくり教室

12月18日(日) 9時30分~11時30分

【会場】蒲生コミュニティセンター小ホール

【材料代】500円 【定員】15名

申込受付: 12月11日(日)まで



詳しくはQRコードよりチラシをご覧ください



●申込・問い合わせ先 蒲生コミュニティセンター
(受付時間) 9:00~17:00
TEL 0748-55-0207 IP 050-5801-0207
FAX 0748-55-3898

【12月休館日...20日(火) ★年末年始休館 12月29日~1月3日】

~近江狛犬めぐり~

ふるさと学習講座



あいがもけんぶん塾

10月29日(土) 蒲生コミュニティセンターにおいて、ふるさと学習講座「あいがもけんぶん塾」の令和4年度第5回が開催され、小寺慶昭さん(龍谷大学名誉教授)を講師に迎え、「近江狛犬めぐり—その魅力と楽しみ方—」と題した講演がありました。

狛犬は多くの神社にあるため、神社へ参拝したらほぼ目にします。誰にとっても身近なものであるといえます。しかし、狛犬がどういうものであるか詳しくは知られていません。狛犬の姿かたちや顔の表情、また台座に刻まれている作成年代や寄進者などから、その系譜や特徴、地域の文化や歴史について学びました。

今年度のあいがもけんぶん塾は、今回で終了となりました。多くの方に受講していただき、ありがとうございました。次年度も皆さんに興味を持って

わいが屋@せせらぎで楽しいひと時を!

12月の開催案内

12/15
(木)

13:30~15:00

『ニュースポーツで楽しく身体を動かそう!』

東近江市社会福祉協議会 蒲生事務所せせらぎ

場所

東近江市市子川原町 676-1

問合せ

TEL 0748-55-4895 IP 050-5802-2528

【第2層協議体わいがや支え合い蒲生】



らえるような多彩な内容の講座を開催したいと考えています。興味のある回だけの受講もできますので、多くの方に受講していただきますようお願いいたします。【蒲生コミュニティセンター】

蒲生まち協会員は、蒲生地区に住んでいる一人ひとりが会員です。



がまチョコに皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。

Email: gamomachiky@e-omi.ne.jp TEL/FAX: 0748-55-3030

←がまチョコのバックナンバーも見られます。

蒲生地区まちづくり協議会(広報企画委員会)

■蒲生地区の人口

(令和4年11月1日現在)

人口: 14,294人(-33)

男性: 7,102人(-11)

女性: 7,192人(-22)

世帯数: 5,460 (-7)

※()内は前月比